

吉野川市美郷のホタルがピンチ。国の天然記念物に指定され、県内有数の名所の同地区で今夏、発生数が激減する見通しとなっている。昨年から今年にかけて、ホタル

専門家調査

ルのすむ川田川で幼虫の生息数を専門家が調査したが、確認できたのはわずか1匹。昨夏の台風で大半の幼虫が流されたことが原因とみられている。

美郷 ホタル激減？

幼虫 台風で流される

まつり 観光客減少を懸念 実行委



昨夏の台風で幼虫が流され、ホタルの発生数が激減しそうな川田川＝吉野川市美郷川俣

美郷ほたる館の前館長で、退任後も観察を続けている佐藤正勝さん(63)は、昨夏に調査したところ、川床にある調査地点には10匹以上の幼虫が石の裏にいたが、昨年は1匹だけ。少なかつたため、幼虫が岸に上陸して土に潜り始める今年3月までの間に数回調べたが、幼虫は確認できなかった。

美郷ほたる館の前館長で、退任後も観察を続けている佐藤正勝さん(63)は、昨夏に調査したところ、川床にある調査地点には10匹以上の幼虫が石の裏にいたが、昨年は1匹だけ。少なかつたため、幼虫が岸に上陸して土に潜り始める今年3月までの間に数回調べたが、幼虫は確認できなかった。

美郷では、台風で川田川が大洪水となった翌年の2005年、発生数が例年の5分の1程度に減少。それでも前年の11月には10匹ほどの幼虫が見つかっていた。発生数が例年並みに回復したのは08年以降という。29日からほたるまつりを予定している実行委は

ともあり、佐藤さんは「今月下旬からのホタル発生数は激減しそう」とみている。

「自然に左右されるのは仕方がないが、観光客も減りそうで残念。実際どれだけのホタルが流されたのか、ただが残っているのか、すぐに回復するのは分らない」と話している。